

令和6年度小山市民フォーラム 第2回おやま井戸端会議 議事録

日時： 令和6年9月8日(日)10:00～12:00

会場： 小山市役所1階 多目的スペース

出席者： 参加者 8名

スケジュール：

(1) 開会	10:00
(2) 市長挨拶	10:00～10:05
(3) 運営委員長挨拶、運営委員紹介、注意事項説明	10:05～10:10
(4) 意見交換	10:10～11:30
(5) 意見の共有	11:30～11:45
(5) 参加者、運営委員及び2役から感想等の発表	11:45～11:55
(6) 閉会	11:55

参加者(運営委員含む)の意見(要約)

A グループ

家庭における体験格差の問題について

- ・家庭の状況で体験の格差がある。
- ・体験にはお金が必要で、おじいちゃんおばあちゃんの補助があれば良いが、そうでない子は体験することが難しくなっている。
- ・昔は子どもの数も多く、子ども同士で遊んでいたが、今は少子化で、親の経験値や所得で体験格差が広がっている。
- ・高齢者も孤立しているので、子どもと関わり、それが体験格差を埋める一つの手段になればいい。

お年寄りと子どものつながり

- ・ボランティアのようなかたちで、お年寄りは子供を生きがいにして関わっていただけたい。
- ・高齢者と子どものふれあいで使って頂きたいのが、常設型サロンの「じゃあまたね」。
- ・「じゃあまたね」は公園の芝生や、縁側のような用途で地域の方に使ってもらいたいが、現状は高齢者ばかりの利用になっている。
- ・「じゃあまたね」が誰でも利用できるということを知らない方が多いので情報共有ができればよい。
- ・学校の空き教室が、常設型のふれあいスペースになればよい。
- ・ある小学校では、お年寄りがベーゴマやメンコ、けん玉といった昔の遊びを教えてくれる場がある。

子供同士のつながり

- ・学校の時間は限られているので、1年から6年をグループ分けして子供同士の遊べる環境を意図的に作っている。
- ・学校帰りに子どもが集まる場所があればいいが、今はまっすぐ家に帰りなさいと言われている。
- ・昔は駄菓子屋が子どもの集まる場所であった。
- ・市で子供同士のつながりの場を設けられるように検討してほしい。
- ・市での予算計上も必要だが、業者に協力してもらいお菓子版のフードバンクがあればいい。

学校教育における保護者負担の軽減について

- ・学校は義務教育だが、隠れた保護者負担が多い。(遠足、修学旅行、教材費など)
- ・修学援助などの制度はあるが、そこにかからないボーダーラインの家庭もあり、格差がなくならない。
- ・お金がなくて行事に行かない子どももいる。
- ・市で公費化を検討し、保護者負担を減らせる政策を考えてほしい。
- ・子ども基金のようなものを作って子どもたちに還元していければありがたい。

PTA、ボランティア団体等の在り方について

- ・PTAとは別に父親委員会というようなボランティア団体がある。
- ・PTAのようなきちんとした組織ではないが、ボランティアでも学校を支えることはできる。
- ・PTA、育成会などの加入率が下がっているが、役員になれば卒業式でいい席を用意してもらえというようなメリットをつけることを考えてほしい。
- ・組織に協力的でない人をどう引き込むのかを考えていく必要がある。
- ・ボランティアや学校運営協議会といった、地域が参画し、地域で子どもを育てていくことで、学校の負担を減らしていくことが大切。
- ・ボランティアの人たちだけで完結する支援が学校はありがたい。

B グループ

子育ての環境に関することについて

- ・小山市は現在、キッズスペースがある飲食店が一か所しかないので、子ども連れで気軽に行ける飲食店を増やしてほしい。
- ・子ども連れでも安心して入れるお店かどうかレストランにアンケートをとって協力してもらうはどうか。
- ・子どもにやさしいお店というステッカーがあれば、入る前に知ることができてよい。
- ・ネットで見ることのできる、子育てにやさしいお店一覧があるとありがたい。
- ・予約なしで気軽に行ける支援センターを増やしてほしい。
- ・支援センターの予約方法も様々なので統一してもらえるとありがたい。
- ・児童センターが使いにくいという声がある。
- ・公民館で子育ての情報共有ができるとよい。
- ・動物と触れ合える場所を作してほしい。

子どもの居場所について

- ・共働きなので、子どもが学校や幼稚園に行きたくないといったときにどこに預ければよいのかわからない。
- ・学童にはみんな入ることができるのか、どうやって情報を手に入れることができるのかがわからなくて不安。
- ・お金はかかるが、塾が学童をやっているところもあるときいた。

産後のケアに関することについて

- ・産後6カ月は骨盤がもとに戻りやすいのでリラクゼーションやストレッチ系というよりもしっかりとほぐしのマッサージを受けたい声が多い。
- ・リラクゼーションサロンや整骨院で、共通商品券のような助成券を使えるようにしてほしい。

- ・託児サービスを増やしてほしい。
- ・産後に起こりやすいママの不調一覧などをつくってもらえるとありがたい。
- ・産前だけでなく、市で産後の検診を行ってほしい。

感想等

- ・同じ思いの人たちで情報共有ができてよかった、自分も協力できることがあればしていきたいと思った。
- ・自分の子育てや教員経験の話をできてよかった、こういう場は必要だとも思う。
- ・それぞれの年齢層の悩みを聞き、悩みは毎年変わってくるのだなと思った。
- ・悩みがあってもママ同士では共有しているが、行政と共有できる機会はなかったなので、参加できてよかった。